

03.10.15

## まちづくりと政策イノベーション 発表

### 人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に

政策メディア研究科 修士課程2年

片桐 暁史 / akifumi@sfc.keio.ac.jp

#### 本日のテーマ

研究計画  
おさらい

研究の流れ

現在の位置づけ

アンケート  
調査票のチェック



趣旨文 1枚  
調査票 16ページ

# 研究の目的

## 問題意識

中山間地域・・・国土面積の7割  
農業生産の4割  
若年層流出による過疎・高齢化

人口還流の正確な実態把握は  
わが国の地方圏の将来に重要な課題

## 研究の目的

兵庫県淡路島を事例に、  
人口還流の実態と要因を解明

どのような人が、  
どのような条件の下で帰還し、  
どのような役割を果たしているか

## 研究の意義

既往研究・・・国調、住基  
(~~×~~) Uターンの正確な実数把握  
同窓会名簿分析により  
市町村単位での帰還先の特定  
淡路島・・・  
人口移動を左右する様々な要素



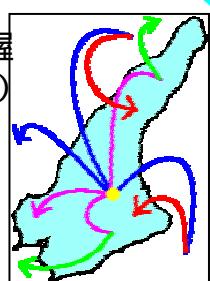
# 研究の流れ

## (0) 淡路地域の概況整理

国勢調査、住民基本台帳、事業所統計  
現地巡査、役場ヒアリング、既往関連研究サーベイ

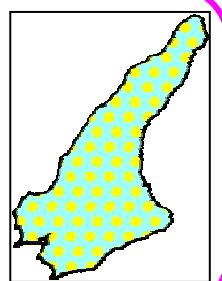
### Uターン動向把握 (同窓会名簿整理)

- マクロな把握
- コーホート比較
- 男女比較
- 地域別の整理



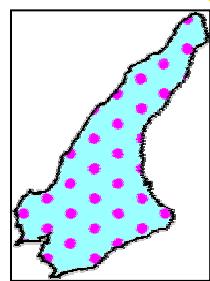
### アンケート 調査

- 家族関係、  
親の職種、持家
- 理想と現実の  
乖離と改善策



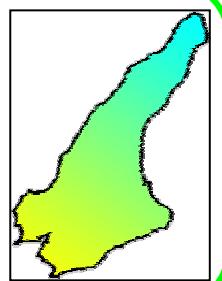
### ヒアリング 調査

- ミクロな把握
- 地域性
- 役場/Uターン支援  
センターの現状



### 考察 地域情報構築

- あるべき条件と  
果たせる可能性
- GISを用いた  
地域情報の構築



# アンケート調査概要

## アンケート調査の目的 「淡路島への帰還実態」

どんな人が、いつ、なぜ帰還しているの?  
帰還している人、帰還していない人の違いは?  
それは時代とともにどのように変化してきているの?

### アンケート調査の対象・比較法

16期生（1945年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還  
の比較

16期生（1945年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

## 「共通点」と「新規性」

### 共通点

荒井・江崎・川口による研究

長野・宮崎県出身男性、3世代に対するアンケート調査

家族構成・学歴・居住経歴・移住理由・職歴など

Uターンの時期、出身市町村志向、Uターン傾向の強まりを確認

Uターンの誘引・阻害要因を解明

本研究の位置づけ より一般性を持たせるための事例的研究

### 新規性・オリジナリティ

- ・男性だけでなく女性の移動実態
- ・Uターン実行後の再流出の実態・要因
- ・地方圏出身者の高齢期における移動・居住
- ・Uターン後の、地域における役割
- ・ライフコースの中のUターン
- ・淡路島の進学高校卒業者という特殊性

### 本研究の位置づけ

これら新規性を  
導き出せる  
アンケート調査を通し  
新しい知見を示す

# アンケート対象者の類型

## 男女による分類

男性 女性  
収入は家計全体に注目

## コーホートによる分類

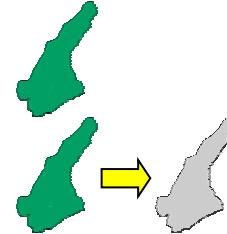
26期生(1955生) 現在48歳  
このコーホートを中心に分析  
きょうだいが少なくなった頃  
「Uターンしないと」?

16期生(1945生) 現在58歳  
定年後・高齢期の居住意向  
きょうだいの多い頃  
「Uターンしなくても」?

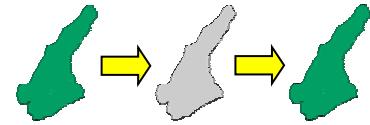
41期生(1970生) 現在33歳  
若年層の移動実態・意向

## 居住パターンによる類型

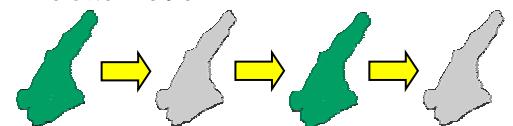
Uターン非実行者



Uターン実行



再流出者



# アンケートの構造

## >> 全員「基本属性」

基本属性(年齢・性別・きょうだい数・学歴・家族構成・職業など)  
配偶者の出身地、居住経歴(高校在学時～現在、3類型化)

## >> [U]非実行者

[U]検討の有無・時期・程度  
検討時の家族  
[U]断念の理由  
[U]の誘引・阻害  
今後の意向

## >> [U]実行者

[U]の時期・家族  
[U]の誘引・阻害  
[U]前後の変化(職・収入)  
地域活動  
今後の意向

## >> 再流出者

[U]の時期・家族  
[U]の誘引・阻害  
[U]前後の変化  
再流出の時期・家族  
再流出の理由・変化  
今後の意向

## >> 全員「経験を通して」

将来の居住地・同居者の意向  
淡路地域に対する満足・不満、[U]促進策に必要な手段  
[U]に対する自由意見、ヒアリングの可否、結果概要の要否

# 今後の予定

淡路地域の概況整理  
済み

Uターン動向把握  
済み

アンケート作成・実施  
2003.10

ヒアリング調査  
2003.08～11

考察  
2003.11～2004.01

## 公式日程

10月22日  
中間発表練習

10月25日  
中間発表

1月14日  
修士論文提出

2月4～5日  
最終発表